

第27回 全日本高等学校・中学校 オリエンテーリング 選手権大会

Contents

有力選手紹介.....	1
選手権出場選手紹介...	6
選手権出場校紹介....	10
座談会.....	12
歴代優勝者コメント...	14
ジュニア日本代表コーチ展望..	16
過去データ.....	17

観戦ガイド

期日 2013年9月21日(土)～23日(月・祝)

開催地 静岡県富士宮市

会場 スポーツビレッジ 村山ジャンボ

主催 全国高校生・中学生オリエンテーリング連盟OS会

主管 第27回全日本高等学校・中学校オリエンテーリング選手権大会実行委員会

共催 静岡県オリエンテーリング協会

後援 多摩オリエンテーリングクラブ

スポーツビレッジ 村山ジャンボ

協賛 Inov8

O-Support

TRIMTEX

協力 慶應義塾オリエンテーリング同好会

電気通信大学オリエンテーリング同好会

東京工業大学オリエンテーリング部

東京大学オリエンテーリングクラブ

早稲田大学オリエンテーリングクラブ

東海高校

現在 3 連覇中の王者東海。昨年は団体戦、B チームが優勝するという層の厚さを見せつけたが今年も層の厚さは健在だ。

中学時代からのエース種市を筆頭に、JWOC で補欠に入った大久保、急成長中の稲森・長谷川など、タレントに不足はない。常勝軍団としての面目を保つことができるか。



稲森剛（高 2）

種市、大久保、長谷川の中では遅咲きだが、今年大ブレイクした。2012 年度全日本オリエンテering選手権大会 M20E では 7 位と入賞まであと 30 秒。爽やかな笑顔が印象的！



種市雅也（高 2）

2012 年夏、JWOC 代表として海を渡ったこの男。世界を知った彼は今夏も単身ポーランドへ遠征、その活動は日本に留まらない。前年は惜しくも入賞を逃したが、今年はピカイチを目指す。



大久保雄真（高2）

中学時代から安定して速い印象の強い大久保。しかし昨年は団体戦でMEを走ることはできなかった。その悔しさを、今年は晴らすことができるのか。

長谷川望（高2）

のぞみーるの愛称で知られている長谷川は、前回大会5位。今年8月の愛知県選手権では高校生トップと、実力と実績を積み上げてきた。身長は180cmを上回り、岡本将志・山田晋太郎の後を継ぎ、名古屋の巨人として新たな歴史を作してほしい。



東海中学



椎名晃丈（中3）

前回大会2位。現在35名もの部員がいる東海中学の中で、常に上位の走りを見せている。愛知で培った力を発揮できるか。

桐 朋 高 校

前回の個人戦優勝、大本命・柴沼健の個人戦二連覇に期待がかかる桐朋。
注目はエース柴沼率いるチームが9年ぶりに団体戦優勝奪還なるか。
最早、柴沼に死角はないが、2番手の山川、そして3番手として急成長
の長井が、柴沼につなぐことができるのかが鍵になる。



柴沼健（高2）

言わずと知れた前年度インターハイ覇者。まさに“柴犬”の仔犬のように愛くるしい笑顔で多くの人々を魅了してきた。しかし、オリエンテーリングは正確且つ緻密。更に松岡修造ゆずりの熱いハートを併せ持つ。男子では7年ぶりの連覇を成し遂げることができるのか。

山川登（高2）

関東地区のセレクションをトップで通過。最近髪の色がめまぐるしく変わっていることでも有名。
エースの柴沼と共に強く、そして速く山川を登る彼が見てみたい！



津島孝祐（中3）

前回、中2にして中学選手権覇者。圧倒的な走力を持つ。しかしまだミスもする不安定さもあるようだ。中学選手権大本命。



浜口哲（中3）

現在売り出し中の浜口、津島の対抗馬的ポジション。山の中のスピードが速く、筆者はついていけない。チャーミングな笑顔がポイント。

桐朋中学

国沢楽（中3）

第1回インターハイ出場者の息子でもある2世オリエンティア。中2の1年間は三重の中学校で陸上部に所属、走力には定評がある。





大田将司（高2）

高校生になってからその名が有名となった将司。今年度は合宿にも精力的に参加し、実力を高めてきた。優しく紳士な彼がどんな攻めた走りをするのか期待。

麻布高校

優勝 8 回と数々の伝説を作ってきた伝統校・麻布だが、今回は、JWOC 代表でエースの濱宇津が直前合宿で怪我により欠場というアクシデントが。長年一緒にチームを支えてきた晝間、急成長中の大田らが、どれだけ意地を見せることができるのかに注目したい。

晝間悠生（高2）

前年準優勝者。濱宇津と中学時代から積極的に大会に参加し実力を二分してきた。しかし今年は鎖骨を骨折、どこまで調子を上げられるかが鍵である。



選手権出場選手紹介

【男子高校選手権】

- ・大田 将司 麻布高校 2 年
入賞が目標！ 最後のインターハイ、楽しまなきゃ損！
- ・小椋 天一 麻布高校 2 年
一度この場に來たからにや、逃げねえ負けねえ諦めねえ。ここでやらねば男がすたる。
行くぜ、ダチ公。
- ・晝間 悠生 麻布高校 2 年
山を回らし海を倒す。
- ・久米 悠介 麻布高校 1 年
麻布の誇りにかけて全力で生きます。「／＼o^＼フジッサーン」
- ・西村 直哉 麻布高校 1 年
最善をつくして全力でがんばります。
- ・藤田 純矢 麻布高校 1 年
ミス率を 1 ケタに収められるよう頑張る。
- ・浅井 健杜 東海高校 2 年
初めての ih ですが、今まで培ってきた経験を生かし、ミス無く最高の走りをみせたいと思います。
- ・稲森 剛 東海高校 2 年（シード選手）
優勝することだけを目指して、最後まで全力で走ります。応援よろしくお願いします。
- ・大久保 雄真 東海高校 2 年
インターハイの個人戦では、自分としては一度も満足のいく結果を取った事が無いので、最後のインターハイでは自分で満足出来る走りをしたいと思います。
持ってる力を全て出し切りしたいと思います。
- ・佐藤 遼平 東海高校 2 年
この夏やってきた努力をすべてぶつけ、最後の年に参加できた ih を悔いの残らないものとします。
- ・種市 雅也 東海高校 2 年（シード選手）
去年の悔しさを糧に攻めのレースを貫きます。スタートしたら最後まで諦めない気持ちを持って粘りを見せます。
- ・竹本 拓 東海高校 2 年
僕は今まで練習を積み重ねてきた自分に対する自信と、最後まで諦めない粘り強さを持って上位を目指します。
- ・二村 真司 東海高校 2 年
憧れの先輩たちの開くインターハイに意思を受けついで僕らが走ります。新しく強い東海を先輩達に証明します。

・長谷川 望 東海高校 2 年 (シード選手)

泣いても笑っても今回で最後のインターハイなので、中 2 の時からの目標を達成し、笑って名古屋に帰ります。

・**本田 涼磨** 東海高校 2 年

インターハイを走るからには、皆が納得する結果を取りに行きます。現役最後なので悔いを残さぬ様にします。

・**天野 裕貴** 東海高校 1 年

日頃の練習の成果を生かして万全の状態自信を持って ih に挑み最高の走りをして大番狂わせを演じます。

・**三浦 一将** 東海高校 1 年

去年のインターハイで下級生に負けた悔しさを、今年は上級生に味わわせて見せます。

・柴沼 健 桐朋高校 2 年 (シード選手)

どんな走りになろうと優勝を目指します。

・**長井 健太** 桐朋高校 2 年

オリエンテーリングを始めて一年半、自分なりに努力を重ねてきました。インターハイではその結果を悔いなく出しきれるように走りたいと思います。

・**山川 登** 桐朋高校 2 年

フィジカルに自信はありませんが、ミスをしないう堅実なレースをして、上位を狙いたいと思います。

・**森田 夏水** 桐朋高校 1 年

速い人ばかりのなかで走ることになりますが、自分の力を出し切っていい成績を残したいと思います。

・**吉田 修太郎** 桐朋高校 1 年

今回のインターハイでは、地形をよく見てミスを少なくし、個人戦で 10 位以内を目標に頑張りたいです。

・**大城 真人** 武相高校 2 年

初めての選手権なので、来年につながるようなレースにしたい。

・**宮本 樹** 船橋高校 2 年

ミスをしないう、慎重かつ迅速に地図読みができるようにしたいと思います。

【女子高校選手権】

・**山岸 夏希** 公文国際学園高等部 2 年

去年に引き続き優勝を狙いに行きたいと思います。ウィニングタイム切ります。

・**佐野 響** 中大附属高校 1 年

OL の楽しさを知ったのは部活動を通してですが、いままでの経験を通して精一杯頑張ります。

【男子中学選手権】

- **小崎 舜真** 麻布中学校 2 年
僕は逆転できるよう頑張ります。
- **及川 翔太** 中大附属中学 3 年
地図読みを間違えないようにして、優勝目指して頑張ります！
- **熊田 悠人** 東海中学校 3 年
いままで ih で結果を残すことを目標にしてきたため悔いの残らないオリエンテーリングをしたいです。
- **椎名 晃文** 東海中学校 3 年 (シード選手)
去年は目前で優勝を逃したので、1 年間インターハイ優勝を狙って練習してきました。
今年こそ優勝します。
- **田中 駿太郎** 東海中学校 3 年
ih を走った後に、楽しかった・最高だったと胸を張って言えるような走りをしたいです。
悔いのないよう走ります。
- **中村 郁** 東海中学校 3 年
今回の ih では全力を出し切ることを第一の目標とし、個人戦、団体戦優勝を目指し自分が満足できる走りがしたい。
- **野田 聡** 東海中学校 3 年
私は去年 ih に行くことができなかったのも、今年はその悔しさをばねにして優勝を目指したいと思います。
- **古殿 直也** 東海中学校 3 年
自分は、昨年部内の仲間が活躍していく中で悔しい思いをしたので、その気持ちを糧にして今年も全力で勝ちに行きます。
- **松田 悠太郎** 東海中学校 3 年
去年の ih は 7 位という結果だったので、今年は去年の雪辱を晴らして、個人団体に優勝したいと思います。
- **和佐田 祥太郎** 東海中学校 3 年
僕は走りより地図読みが得意だと思っているので、難しい富士で出来るだけミスを抑えて優勝を目指します。
- **石田 倫啓** 東海中学校 2 年
今年は初めての IH で緊張していますが、地図読み走力共にレベルアップさせて勝ちに行きたいです。
- **梅本 航聖** 東海中学校 2 年
今まで学び、教わってきた技術の全てをもう一度思い出し、全部だしきります。
応援よろしくお願いします。
- **小川原 大輔** 東海中学校 2 年
僕は ih 個人戦で今持っている技術、体力等を全て出しきって周りの人に引けをとらない走りをしたいです。
- **宮嶋 大輔** 東海中学校 2 年
僕の実力はまだ未熟ですが諦めないで落ち着いて出せるもの全てを出し頑張って走りたいです。

- ・池田 匠 東京学芸大学附属竹早中学校 3 年
頑張ります。
- ・大石 洋輔 桐朋中学 3 年
個人戦は自分の持ってるすべての力を出し切って！三位以内にはいります！
- ・大菱池 遼 桐朋中学 3 年
ミスをせずに自分が満足出来るタイムを目指して走ります。
- ・国沢 楽 桐朋中学 3 年
前回の IH では残念な成績を残してしまったので、今回は中 3 として、IH1 位を狙いたいです。
- ・高橋 友徳 桐朋中学 3 年
去年は大きくミスをしてしまい結果が悪かったので、今年は上位を狙ってがんばります。
- ・津島 孝祐 桐朋中学 3 年（シード選手）
最近オリの調子が悪いですが、インターハイ連覇に向けて調子をあげていきたいと思っています。
- ・浜口 哲 桐朋中学 3 年（シード選手）
個人戦 5 位を狙いたいです。
- ・山野 薫 桐朋中学 3 年
正確なオリエンテーリングをやり上位を目指します。

【女子中学選手権】

- ・富田 まこ 中大附属中学 3 年
体力に自信もなく、方向感覚もあぶない自分ですが、完走できるようがんばります。
- ・宮本 和奏 土中 3 年
できるだけ、ミスしないように頑張ります。

選手権出場校紹介

東海中学校・高校

東海中高は、明治 21 年に浄土宗の僧侶養成学校として開校。「勤儉誠実」を校訓に、中高一貫教育により、県を代表する私学として 125 年の時を刻んできた。50 近くの部活が、勉強以外のものを獲得するべく活動し、その中で一生付き合える友情を育んでいくことを目指している。同窓生の結束の強さはよく知られ、海部元首相・梅原猛氏・故黒川紀章氏をはじめ、世界的規模で活躍する先輩は、在校生の大きな励みとなっている。

入部したての頃目標だった先輩たちの残してくれたものを受け継ぐ僕達は、先輩たちを超えようと努力してきました。先輩たちの見てくださる前で、新しい東海を披露します

桐朋中学校・高校

「前大会では男子個人戦全クラス制覇を果たした桐朋は、今最も勢いのある学校と言っても過言ではないだろう。そのままの勢いで、今年は団体戦も含め、全クラス制覇を目指す。」

麻布中学校・高校

東京都港区元麻布に後者を持ち、周辺にはどきつい坂が構えているという、オリエンテering部にとっては最高の(?)立地であることは間違いない。サッカーの実力で向かうところ敵なしであろう。また今日のオリエンテering界において、麻布 0LK の 0B は絶大な存在感を持っている。今年のテーマは「雌伏の時を至福の時へ。」

武相中学校・高校

本学園は昭和 17 年 6 月 24 日、石野瑛が教育者としての抱負を具現せんため、多数の労力的、経済的援助者の力をかりて横浜市港北区篠原町富士塚に武相中学を創立。同年 7 月 2 日開校式を挙げ、のちに同町仲手原 2 万余坪の萱野原(現武相台)に校地をさだめ、同 18 年 4 月 14 日竣工、富士塚校舎より移転した。

その名武相(武蔵・相模)は恵まれた学園の環境と、見はるかす武相の山野をたたえてとったものである

船橋高校

船高は、作詞作曲がサトウハチロー、山田耕筰というすばらしい校歌を持っています。
ワングル部員を説得してのチームで団体戦に出るので、完走できるよう頑張りたいです。

浦和高校

埼玉県立浦和高校は創立 118 年を迎える男子校です。「尚文昌武」が校訓で、部活動も大変盛んです。オリエンテーリング部は現在 2 年生 3 人、1 年生 9 人で活動しています。全員が高校から始めるため、大会に参加する度に新しく学ぶことが多いですが、楽しく元気に競技や練習を行っています。応援よろしくお願いいたします。

中央大学附属中学校・高等学校

中央大学附属高等学校・中学校は共学の大学附属校です。中学校は開校から 4 年目ですが、部活動や行事が盛んです。高校では修学旅行の代わりに研究旅行があり、先生と生徒数十名がグループとなり、小笠原や沖縄、海外ではアンコールワットやトルコ、マレーシアなど行きたい場所を訪れます。

生物部は野生動物調査のために山に行きます。その際、地図読みの技術が必要なのでオリエンテーリングを始めました。世界中どこに行っても記号が変わらないのがオリエンテーリングの魅力です。

柏市立土中学校

創立 67 年の歴史のある中学校です。

今では分校を重ね、全校で 300 人未満の小さな学校になってしまいました・・・。

オリエンテーリングに関する部活がないので、1 人で（家族と共に）活動しています。

と一ほ一生の座談会。

とある夏の日、桐朋 IK は富士で合宿を行っていた。最終日の朝、桐朋 IK の選手権出場者を集めて元主将で桐朋 OB の澤口が話を聞いてきた。



参加者

さ：澤口弘樹(桐朋高校 OB。司会)

し：柴沼健(桐朋高校 2 年。前年度個人戦優勝者)

や：山川登(桐朋高校 2 年。関東ポイントレース 1 位)

な：長井健太(桐朋高校 2 年。関東ポイントレース 8 位)

も：森田夏水(桐朋高校 1 年。関東ポイントレース 7 位)

よ：吉田修太郎(桐朋高校 1 年。関東ポイントレース 10 位)

さ それでは座談会をはじめたいと思います。

ぜ よろしくをお願いします。

さ インターハイ本番まであと一ヶ月なわけですが、みんなの調子を聞いていこうかな。まずはシバケンから。

し 桐朋杯でもいい走りができたので調子は良いかなと思います。

な シバケンは一トラス合宿から早かったもんね。

し そうだね。最近スピードが出るようになりま

した。

も 確かに桐朋杯のあの速さは異常だった笑

さ 桐朋杯は 1:15,000 の地図だったし、本番と同じ富士だから、かなり期待が持てるね。それじゃあシバケンのライバルは誰かな？

も 向かうところ敵なしです笑

し いやいや、それはないです笑。麻布だったら濱宇津ⁱⁱⁱ。東海はあまり詳しくないから E 権をとっている人全員です。

さ では、次は関東セクション一位通過のノボリー^{iv}。

の セクションの時はよかったんですけど、7 月に怪我をしてしまってトレーニングもできなくてメンタルも落ち込んでいました。ようやくトレーニングを再開し始めたので、これから上げていこうと思います。

さ ちなみにライバルは？

や 桐朋だと長井です。他校だと将司^vです。濱宇津には敵わない笑

さ 長井はどう？

な 僕はセレ通過が危ぶまれていたんですけど、正直なところセレ通過してからの方が伸びている気がするの、このまま行きたいです。ライバルは、同期の将司です。お互いに拮抗しているという、成績は五分五分なんです。

さ それじゃあ、ノボリー、長井、将司の三人の勝負は見所だね。上位争いも面白そうだけど、E 権枠をかけた 10 位以内争いもかなり見所だね。次は森田に聞こうか。

も 僕、最近ミス率やばいんですよ。50%とかよく取っちゃうんです。

し でも巡航が上がってきてるよね。

も ミスを除いたタイムと実際のタイムに差がありすぎるんです。

さ 最後はボーダーギリギリで意地を見せた吉田。

よ 最後のセクションレースで終わったって思ってたんですけど、偶然通過してしまったので、これはやるしかない、っていう感じです。やる気が

出てきました。

も 重い腰を上げたな笑。

さ 次は個人戦について聞いていこうかな。こいつは上位に食い込んでくる！っていう選手はいる？

や シバケン、濱宇津、晝間^{vi}・・・

も 晝間さんはよくわからないですよ。気づいたら上にいるっていう感じ。

し あとは、稲森^{vii}、種市^{viii}、長谷川^{ix}ですね。

さ じゃあ、誰が優勝しそう？

ぜ そりゃあもちろんシバケンですよ。

さ これは是非二連覇してほしいね。

さ じゃあ団体戦にうつって、絶対勝ちたいって思う学校はどこ？

ぜ それは麻布！

さ それじゃあ、あの学校はこのメンバーでくる！っていうのはある？

し 麻布はもちろん、濱宇津、晝間とあと一人ですかね。

な 走順は晝間、将司、濱宇津だと思う。

も 俺らはBチームだから関係ないですね。

し おい、東海はBチームが勝ったんだぞ！笑

も いやあ、先輩たちには勝てないですよ。俺らは完走を目指します！

さ 有無スタートだけはやめろよな笑

さ ところで、今年は例年と比べて個人戦と団体戦の順番が反対になったけど、これについてはどう思った？

し 俺的には、今年みたいな方がいい。俺は個人戦を重要視しているから、去年までみたいに個人戦を控えて団体戦を迎えたくないです。

さ じゃあ、みんなからすると今年みたいなほうがいいってことかな。団体戦での目標順位を聞こうかな。

よ 5位とか・・・

も 一番下は嫌だから、ブービー。早川^xがペナらなきゃ大丈夫です。

し そんなこと言っていると森田がペナるよ。

も その時は吉田もペナります。

さ Bチームダメじゃん笑

さ 今年のインターハイは見どころ満載だね。みんなあと一ヶ月頑張ってください。今日はありがとうございました。

ぜ ありがとうございました。

ⁱ 柴沼健のアダ名。

ⁱⁱ

ⁱⁱⁱ 麻布高校の濱宇津佑亮のこと。関東ポイントレース2位。JWOC2013代表。怪我により欠場。

^{iv} 山川登のアダ名。

^v 麻布高校の大田将司のこと。関東ポイントレース4位。

^{vi} 麻布高校の晝間悠生。

^{vii} 東海高校の稲森剛。関西ポイントレース1位。

^{viii} 東海高校の種市雅也。関西ポイントレース2位。

^{ix} 東海高校の大久保雄真。関西ポイントレース3位。

^x 桐朋高校の早川和秀。関東ポイントレース15位。

歴代優勝者からのメッセージ

第1回優勝 鹿島田浩二（桐朋高校出身）

第一回から四半世紀がたちました。当時既に相当の盛り上がりを見せていたインカレに匹敵する大会を高校生に、と現役高校生が中心となり、若手OBに大会開催をお願いする形でインターハイははじまりました。大会前、当時まだワープロで一生懸命プログラム原稿を作ったのを良く覚えています。

目標とする素晴らしい大会が存在することは、競技スポーツの根幹であり、その意味で高校生の目標であるインターハイが四半世紀の間開催され続けたことには大きな意義があると感じています。脈々と引き継いできた若手OB、OGの皆さんの尽力の賜物と感じます。

出場する選手には、日々のトレーニングで培った走力、技術でベストを尽くし、高いレベルの競い合いをして欲しいと思います。

第1回優勝 田島利佳（豊岡高校出身）

With old methods, you only get old results.

日々の工夫と実践はとても大事。気合いだけで勝てるのなら誰だって勝てちゃうよね。

与えられた舞台が用意されているのは幸せなこと。気持ちよくオリエンテーリングを。

第13・14・15回優勝 山田高志（桐朋高校出身）

インターハイの一番印象に残っていることは「高1の団体戦終わって、胴上げをされたときに落とされたこと」。

あの感動は二度と忘れません。

何故落とされたのかは今で不明ですが、お尻が痛かったのが良い思い出です。

インターハイは勝って当たり前という状況だったので、嬉しいという気持ちはよりも安心する気持ちが大きかった。

インターハイを通して精神的に強くなったと思います。

自分たちの世代は高校生オリエンティアが少なかったですが、今はじょじょに増えていてうれしい反面、うらやましいです。

是非、仲間たちと一緒にこのままオリエンテーリングを続けて欲しい。

鹿島田選手・尾崎選手のように日本を代表する選手が出てくるのを楽しみにしています。

最後にインターハイを走る高校生へ

「怪我をせず、レース頑張ってください。」

第16回優勝 柴本浩児（桐朋高校出身）

桐朋は、オリエンテーリングをやっている高校の中では団結力が強い方だと思ってます。

持ち味を活かし、勝ってください。

第 18 回優勝 齋藤翔太（桐朋高校出身）

去年の個人戦タイトル奪還、感動しました。今年は団体戦も期待してます！あと、打ち上げはほどほどに。

第 21・23 回優勝 近藤康満（東海高校出身）

目標とする舞台で中高生のみなさんが日頃の努力を結果に結びつけられるよう願っています。がんばって下さい。

第 22 回優勝 尾崎弘和（麻布高校出身）

麻布高校卒の尾崎です。皆さんにとって待ちに待ったインターハイですね。

私もあの時の記憶は鮮明に覚えています。私はあのインターハイの前、怪我が続き、満足なトレーニングはできていませんでした。ただ、今までやってきたこと、積み上げてきたものは確かなものであるという自信はありました。正直、リレーと個人戦の両方で優勝できると思ってはいませんでした。あの時のインターハイは、自分のため、麻布のためにあったのかもしれないと今も思います。インターハイはそういうところです。皆さんの走り、日々の努力で自分のための舞台にできるのです。

あれからもう 5 年たちました。私の高校時代を知る選手はもういません。しかし、それは新しい時代が着々と築かれている証拠でもあるのです。皆さんは、今年、誰よりもインターハイを楽しんだと言える走りをしてください。楽しみ方は人それぞれです。ただ、それは全力で取り組まないと見えてこないと思います。高校生の晴れ舞台、インターハイを自分のものにしていきましょう！

同時に、中学生も中学選手権ですね。インタージュニアとえばいいですかね。中学生も立派な選手権です。高校生と中学生、力を合わせて熱いインターハイを作ってください。

最後に、麻布の方々、一矢を報いてください。今年は結構期待しています！5 年は麻布の黄金世代の周期と言われています。今年はその五年目です。君たちなら絶対麻布に優勝カップを持ち帰れると信じています。海外から応援しています。

偉そうなコメントですが、皆さんの活躍を期待しています。

第 25 回優勝 宮西優太郎（東海高校出身）

2010 年度のインターハイは東日本大震災により延期になり、全日本大会と併設で開催されました。このため ME ではあまり多くのエントリーがありませんでしたが、優勝が決まった時はとても嬉しかったことを今でも忘れません。

後輩たちの活躍を見ていると、この数年で特に母校では全体の競技力が格段に上がったように感じます。
皆が目指してきたこの舞台で練習してきた成果を最大限に発揮することを願っています。

インターハイ 2013 展望

ジュニアコーチである石澤俊崇さん(オリエンテーリングクラブ・トータス所属)に今年度の男子インターハイにおける見所や注目選手などについての講評をいただきました。是非、インターハイの観戦にお役立てください。

インターハイの開催時期が9月に移ってから今年は2回目となります。3月に行われていた際は、大学のインカレや全日本と同様に、一年の総決算といった意味合いが大きかったと思いますが、9月開催となり、これからの誰が高校生たちの中心となって引っ張っていくのか、を決める大会になっていると感じます。

初の9月開催だった昨年に優勝したのは、その年のJWOCを経験した東海高校の角田・種市両選手ではなく、当時桐朋高校1年であった柴沼選手でした。柴沼選手から10分ほどの間に16位までの選手がひしめく接戦で、リレーを優勝した選手層の厚い東海高校ではなく、関東の高校生が4位内を占めたことは印象的でした。

今年の見所のひとつは、昨年の個人戦、そして春先のJWOC予選でも苦杯をなめた東海高校勢がいかに巻き返すか、ということでしょう。今年のJWOC代表であった唯一の高校生である麻布高校の濱宇津選手が怪我のために欠場してしまったことが残念でありませんが、種市(昨年7位)、大久保(同16位)、長谷川(同5位)、稲森(同15位)の高校2年生は全員素晴らしい実力の持ち主です。

これを迎え撃つのがタイトルホルダーである柴沼選手、そして昨年3位であった麻布高校の晝間選手でしょうか。接戦だった昨年のウィニングタイムは34分ほどでしたが、今年は65分の設定で、近年大学生とも渡り合うようになったハイレベルな高校生の頂点を決めるに相応しいものとなっています。とは言え、まだ65分を超えるようなレースの経験はどの選手も少なく、最後までしっかり走り切れるだけのフィジカルが備わっていることが優勝への最低条件になると思われます。

昨年も怪我で個人戦を欠場した濱宇津選手でしたが、団体戦では活躍を見せ、半年後のJWOC予選ではライバルたちを逆転しました。このようにどの選手も伸び盛りの時期ですから、今回の結果が今後の優劣を決定づけるものではありません。優勝選手を中心とした高校生たちの力関係が、秋冬のシーズンを経てどう変わっていくのか、注目しています。

2013年9月15日 石澤俊崇

■インターハイ歴代優勝者・優勝校紹介

	男子選手権者	女子選手権者	男子選手権校	女子選手権校
第1回	鹿島田 浩二(桐朋2)	田島 利佳(豊岡1)	桐朋高校	川和高校
第2回	永田 芳樹(桐朋2)	志村 聡子(川和1)	桐朋高校	水戸第二高校
第3回	萩原 健(麻布2)	伊藤 晶子(国分寺1)	麻布高校	川和高校
第4回	太田 晃弘(麻布1)	三木 佳子(水戸2)	麻布高校	国分寺高校
第5回	鈴木 篤(早実3)	伊藤 晶子(国分寺3)	早稲田実業高校	国分寺高校
第6回	石澤 俊崇(早実3)	酒井 さつき(豊多摩1)	麻布高校	保谷高校
第7回	榎本 和弘(麻布1)	酒井 さつき(豊多摩2)	麻布高校	-
第8回	榎本 和弘(麻布2)	丸山 仁美(国分寺2)	桐朋高校	-
第9回	中島 篤(箕面3)	高橋 ひとみ(高専2)	麻布高校	-
第10回	岡 俊彦(麻布1)	高橋 ひとみ(高専3)	麻布高校	-
第11回	川上 崇史(麻布1)	渡邊 信枝(新宿1)	浦和高校	-
第12回	川上 崇史(麻布2)	渡邊 信枝(新宿2)	麻布高校	-
第13回	山田 高志(桐朋1)	-	桐朋高校	-
第14回	山田 高志(桐朋2)	渡邊 信枝(新宿3)	桐朋高校	-
第15回	山田 高志(桐朋3)	渡邊 久美(実践1)	桐朋高校	-
第16回	柴本 浩児(桐朋2)	渡邊 久美(実践2)	桐朋高校	-
第17回	山倉 貴之(東海2)	渡邊 久美(実践3)	桐朋高校	-
第18回	齋藤 翔太(桐朋2)	高野 美春(秋草1)	桐朋高校	-
第19回	宇野 夏樹(武相2)	高野 美春(秋草2)	東海高校	-
第20回	宇野 夏樹(武相3)	高野 美春(秋草3)	東海高校	-
第21回	近藤 康満(東海1)	-	東海高校	-
第22回	尾崎 弘和(麻布2)	藤田 雲母(美濃加茂1)	麻布高校	-
第23回	近藤 康満(東海3)	菅原 早希(松戸国際3)	東海高校	-
第24回	宮西 優太郎(東海3)	太田 一彩子(成蹊2)	-	-
第25回	-	-	東海高校	-
第26回	柴沼 健(桐朋1)	山岸 夏希(公文国際1)	東海高校	-

* 第24回大会は東日本大震災により中止・延期。全日本大会との共催で個人戦のみ代替大会開催。

* 第25回大会個人戦は積雪のために中止。

* 学年は大会当日のもの。

第27回
全日本高等学校・中学校
オリエンテーリング
選手権大会 観戦ガイド

製作 第27回全日本高等学校・中学校
オリエンテーリング選手権大会
実行委員会

